



# 旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校  
学校だより 3月号  
平成30年3月1日発行  
発行責任者：野田 豊



<6年生 社会科見学・国会議事堂>

## 天からの贈り物

校長 野田 豊

平昌冬期オリンピックが閉幕しました。日本は、過去最高の13個のメダルを獲得し、大いに盛り上がった大会となりました。男子フィギアスケートの羽生選手のように有力な選手が期待通りの活躍を見せてくれた競技もあれば、女子カーリングのようにニューヒロインが誕生した競技もあり、日本人選手の活躍を伝える連日の放映に日本中が沸き返ったのではないのでしょうか。

オリンピックは、単なるスポーツの祭典というだけにとどまらず、代表選手を応援する国民の気持ちの一つになる不思議な魅力があることも改めて感じました。

☆

勝敗は時の運といいますが、スポーツは、時として残酷な一面を見せます。会場の歓声に応える晴れやかな勝者の陰で、肩を落として無念の涙を流す敗者の姿には胸が痛む思いがします。四年間、いやそれ以上の時間を費やし血の滲む努力を積み重ねて挑んだ大舞台で、力が出せず敗れ去る悔しさや自分の不甲斐なさを味わわなければならないのですから、それを思うとかける言葉が見つかりません。そんな勝負の世界の厳しさの中で、女子500mスピードスケートで金メダルを獲得した小平奈緒選手が見せた行動が話題を呼びました。オリンピック三連覇をかけて臨んだレースで僅かに及ばず銀メダルに終わり、泣き崩れる地元韓国のイ・サンファ選手に小平選手が歩み寄り、抱きかかえて健闘を讃える光景が放映されました。その時小平選手は、イ選手に「コマオヨ（ありがとう）、チョンギョンナムニダ（尊敬します）」と声をかけたと伝えられています。自分が金メダルを獲れたのは、あなたという存在がいてくれたから…、そんな思いがあったのではないのでしょうか。二人は、10年以上もの間、しのぎを削りあってきた好敵手だそうです。競い合う相手がいるからこそ、また、その相手が自分より強いからこそ、相手を乗り越えようとして精一杯努力する。相手も同じ思いで技を磨く。その切磋琢磨が、結果として互いを高め強くし、尊敬し合える関係を作っていたのでしょうか。

スポーツは、健康で丈夫な心と身体を作るだけでなく、観る者を感動させ、自分はどうあるべきかを考えさせてくれる天からの素晴らしい贈り物あることを、改めて強く感じさせられました。3月9日には、パラリンピックが開幕します。どんなドラマが待っているか、今から楽しみです。

☆

さて、平成29年度も残りわずかとなりました。特に、今年度は旭丘小学校の開校80周年という大きな節目の年でもあり、祝賀する記念行事を保護者、地域の皆様、関係の皆様のご支援、ご協力のお陰で滞りなく開催することができました。改めて、心から御礼申し上げます。

また、来る平成30年度も、子供たちの笑顔あふれる学校の創出を目指し、教職員一同奮闘努力してまいりたいと思います。変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。